

企業訪問

(株)シミズプレス

精密プレス金属加工、エージング加工、精密金型設計・製作など

設備投資と金型内製化で事業拡大

群馬県高崎市は、戦後、積極的に企業の工場誘致を進めたこともあり、現在、28の工業団地に約270社が集積する、北関東有数の工業都市である。

今回訪問した㈱シミズプレスは、その一つ、高崎市北部の岩鼻西工業団地に工場を構えている。

「平成16年11月に移転してきました。以前は市街地のど真ん中でしたので、騒音の問題や工場の敷地にも限りがあり、なかなか思い切った事業展開ができなかったのですが、ここに移って、24時間操業も可能になり、当社にとって大きな転機になりました」と笑顔で語る清水紀幸社長（50歳）。学生時代に応援団で鍛えたという張りのある、明るい声が印象的だ。

自動車部品を主力に精密電子機器、事務用機器、高圧容器、電気部品などを手がける同社は、清水社長の父・浩さん（故人）が昭和43年に創業。平成7年に清水社長が父の後を継いだ。現在、清水社長が目指すのは、高品質の製品をつくり続けることのできる「強みのある企業」だ。

移転後にまず手がけたのは、最新の

デジタルサーボプレスは速度や強さなどの微妙な調整が可能な機械で、導入により精度の高い加工が容易になった。群馬県下で最初の導入だったという。また金型の内製化により、顧客ニーズに適った提案ができるようになつたばかりか、試作から量産までの一貫対応が可能になった。

「サーボプレスを思い切って導入したのは、新しい顧客を見越してというより、製品の不良品割合の削減や精度の向上を考えてのことだったのですが、結果として、新規の取引きが増えました。金型の内製化により、仕事の幅も拡がりました」



「私にとっては社員全員が宝。社員には常に『製品が営業をする。製品を愛せ』と言っています」と清水社長



平成17年ISO9001、2000（現在2008）認証を取得し、不適合品ゼロを目指す同社の工場と事務所。また、地域環境保護の取組みを評価され、平成19年群馬県環境GS事業者の認定を受けた

自社ブランドで新境地を開拓

また、同社のオリジナルデザインパイプも見逃せない。金属製のパイプを回転させながら自在に成形するエージング加工によるもので、大手チームパークの遊具に採用されている。「これ



中小型のプレス機部門。精密部品や自動車部品などのさまざまな加工をスピーディーに行い、短納期を実現している



大型プレス機が並ぶ工場内。正面の機械が最新鋭のデジタルサーボプレスで、通常20%程度のロスが、同機では1%以下に抑えられるほか、NCレバーフィーダーとセットで厚板の量産加工も可能。高精度が要求される製品の加工に適している

■オリジナルデザインパイプ



叩きながら絞るエージング加工の作業風景。金属鋼管のデザイン成形及び異形状一体成形技術で「平成14年度群馬県1社1技術選定」、丸角異形状パイプ加工で「平成16年度グッドデザインぐんま選定商品」、各認定



■ 製品例 ■

オリジナルウェルカムスタンド

オリジナル傘立て

オリジナルフラワーベース&フラワーテーブル

*詳細は、ショッピングサイト「ロイヤルガーデン」参照 (<http://e-rg.jp/>)

企業DATA

- 事業所名：㈱シミズプレス
- 所在地：〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2987
- TEL：027-320-2880
- FAX：027-320-2881
- 創業：昭和43年5月
- 代表者：清水紀幸
- 従業員数：17名
- 事業内容：精密プレス金属加工、エージング加工、精密金型設計・製作、試作・商品開発
- URL：<http://shimizupress.com/>
- E-Mail：info@shimizupress.com

自社の技術を磨き上げ、常に新製品開発に挑む同社には、これからも新たな強みが加わっていくことだろう。

一方、工業団地の利点を活かした近隣企業との情報交換も活発だ。「とくに同業の10社とは付合いも長く、お互いどんな設備をもっているか知っていますので、仕事を融通するなど、ゆるやかなネットワークができるいま